

## 糟屋6町の合併構想が白紙に

### 法定合併協議会設置議案を否決

糟屋中南部6町（宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、久山町、粕屋町）の合併問題で、12月の各町の定例議会で法定合併協議会（法定協）の設置議案が上程され、粕屋町と久山町で否決されました。

これにより、糟屋6町の合併構想は白紙となりました。今後は、各町が新たな道を歩むこととなります。

この法定協の設置の議決については、昨年11月14日（水）に開催された、第5回糟屋6町合併協議会設立準備会の中で、6町の町長により協議されていたものです。この会議では、12月の各町の議会で同法定協の設置議案を上程し、12月21日（金）

に6町が同時に採決を行うものでした。

この法定合併協議会設置の議決は、6町のうち1町でも否決すれば、現在協議されている6町の

枠組みが破たんするものでした。今回の否決により、合併新法の期限が切れる平成22年3月末まで

の合併は困難な状況となりました。また、現在設置されている、糟屋6町合併研究会事務局も解散することとなります。



否決されたことにより解散する、糟屋6町合併研究会事務局

## みんなで考えよう まちの未来

### 糟屋6町の特性は

#### 福岡都市圏での位置づけ

糟屋6町は、アジアの交流拠点都市を目指し、140万人以上の人口を擁する政令指定都市福岡市の東側に位置し、9市10町で構成される福岡都市圏の一部をなしています。

面積は糟屋6町合計で145・70km<sup>2</sup>で、最も広い篠栗町が38・90km<sup>2</sup>、最も狭い志免町が8・70km<sup>2</sup>となっており、交通手段が発達し住民の行動範囲の広域化が進んだ現在では、住民の生活行動範囲と行政区画が一致しなくなっています。また、各町で文化ホールなど類似施設を所有しており、広域的にみると重複投資となつていきます。

福岡都市圏は、鹿児島本線や博多湾に沿って南・北・西方向に都市が発達し、糟屋6町のある東方向は遅れて都市化されました。そのため、糟屋6町は、宅地や産業用地の需要に基づき、近年、有数の人口急増地域となっており、秩序ある土地利用が課題となっています。

#### 交通条件

糟屋6町は、JR博多駅や博多港、福岡空港に近い反面、各地区で慢性的な交通渋滞に悩まされているなど、都市基盤の整備が重要な課題となっています。公共交通は、JR篠栗線とJR香椎線が域内を東西に走り、域内に13駅ありますが、福岡市中心部と域内を結ぶバス交通への依存度も高くなっています。

また、筑紫野・古賀線を結ぶ（糟屋6町を結ぶ）バス路線がありませんが、一方、高速自動車道路網については、地域内を北東から南西方向に九州自動車道が縦断しています。また、北西から南東に向かって福岡都市高速4号線が走っています。両道が交差する、粕屋町の北東部には福岡インターチェンジがあり、九州自動車道には須恵スマートインターチェンジ、福岡都市高速4号線には粕屋ランプがあり、粕屋町を中心に流通機能が集積しています。

#### 自然条件

糟屋6町は、九州・西日本を代表する福岡市に隣接しながら、東部から南部にかけては大宰府県立自然公園に指定されている三郡山地に代表される砥石山や三郡山、若杉山などの山林地帯がつづいています。

また、砥石山・三郡山を源とする宇美川、須恵川が合流し、同じく三郡山地を源とする多々良川に宇美川が流れ込み博多湾に注いでいます。河川はいずれも流路延長が短く、流域面積も小さくなっています。気候は日本海型気候に属し、比較的温暖です。

糟屋6町は、豊かな自然に恵まれており、これらの自然は域内住民だけでなく、都市圏住民にうおいを与えるものとして、保全や活用を図っていくことが求められています。

#### 【経過報告】

平成19年11月14日

第5回糟屋6町合併協議会設立準備会

- ①平成20年度合併協議会予算案および各町の負担予定額
- ②合併協議会の設置時期
- ③合併方式の方針
- ④合併期日の方針
- ⑤合併協議会の会長の選任
- ⑥合併協議会の会長の職を代理する副会長の順序

- ⑦合併協議会設置議案の議会上程日の調整
- ⑧合併協議会の日程調整
- ⑨糟屋6町合併研究会の解散期日
- ⑩準備会決定事項に関する確認書の作成
- ⑪合併協議会設置に関する協議書の作成
- ⑫合併協議会規約に関する協議書の作成
- ⑬合併協議会設置に関する事務手続き

などについて協議されました。

宇美町 篠栗町  
志免町 須恵町  
久山町 粕屋町